



きょうりゅう 恐竜 はどんな声を出していたの

まんぶく で 満腹したとき出る「げっぷ」のような声

きょうりゅう 恐竜 といっても、およそ1億4000万年もの長い間、地上の王様としてさかえ、進化の進みぐあいも種類もいろいろで、声を出すものも、出さないものもいたようです。

いま 今いるトカゲなどは ちゅうるい 虫類 は、ほ にゅうるい 乳類 のような声を出すしくみをもっていません。ですから、たいていの 恐竜 は、きかん 気管 から出す 空気を、のどや はな 鼻 や 口 を通すときの、シューとか、フーなどの音や、のどのおくでうなるような声ぐらいしか、出せなかったと思われます。

にほんおんきょうけんきゅうしょ 日本音響研究所 では、おんきょうこうがく 音響工学 と 昔の 生物 を けんきゅう 研究 する 古生物学 を 組み合わせ、きょうりゅう 恐竜 の 声 を 合成 しました。恐竜 ティラノサウルスの とうこつ 頭骨 の 化石 の 大きさと 形 を はかり、しゅうはすう 周波数を計算して、コンピュータで せいもん 声 を つくっている 音の成分を 目で 見える ように 表したものを)をつくり、きょうりゅう 恐竜 の 声 を 合成 したのです。すると、映画「ジュラシック・パーク」で使われていたような 恐竜 の おたけび と はちがって、い 胃 が むか ついた とき 出る 「げっぷ」 の ような 声 になっ た そうです。この 合成 の 声 は、イヌ や ネコ、ライオン などの 声 で、どのくらい 確か か は テスト して あります。

はな 鼻 の 空 どうで、おお 大きい 声 を 出 せた 恐竜 も いる

きょうりゅう 恐竜 ハドロサウルスの 仲間 の 一部 は、あたま 頭 の 上 に と さか の ような 出 っ ぱ り が つい た り、はな 鼻 の わき に、ふうせん 風船 の よう に ふく ら ま せ ら れ る、ふくろ の よう な も の が つい て い ま し た。と さ か の よう な 中 は、なが 長く く ね く ね 曲 が っ た はな 鼻 の 空 どう に な っ て い て、きかん 気管 から の 空 気 を ふ き 出 す とき、クラリネット の よう な 高 い 音 を 出 し た と 考 え ら れ て い ま す。鼻 の わき の ふくろ も、ふくらませたり、しばめたりして音を出せたようです。トリケラトプスの仲間には、大きな舌骨があったため、大きな声が出せたともいわれています。(監修・今泉 忠明)

